

山梨大学学生フォーミュラ部

2 月中間報告書

支援者様へ

早春の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。この度は、山梨大学学生フォーミュラ部の 2 月中間報告をさせていただきます。

2 月に入り車両の加工が本格的に始まりました。ここからが正念場です。車両の早期完成を目指し、9 月に開催される大会には万全な体勢でむかえられるようこれからも部員一同努力していきますので、今後も御支援・御協力よろしくお願いたします。



活動報告

・ 榛葉鉄工所様訪問

2 月 13 日に株式会社榛葉鉄工所様へ訪問させていただきました。この度はエキゾーストマニホールドとマフラーの製作支援依頼と工場見学をさせていただくために訪問させていただきました。工場見学では溶接やパイプの曲げなどを拝見させていただきました。

お忙しい中私たちのために時間を割いていただきありがとうございました。今後も御支援・御協力をよろしくお願いたします。



・同志社大学見学

2月21日に同志社大学フォーミュラプロジェクトに訪問させていただきました。同志社大学の皆さんと車両の開発や製作についてお話することができ貴重な体験をさせていただくことができました。同志社大学の皆さんありがとうございました。今後もさらに交流を深めさせていただきたいです。大会まであと半年、がんばりましょう。



車両製作

・今月のスポンサー支援

日鉄鋼管株式会社様

フレームや足回りのアームなどで使用する鉄パイプを提供していただきました。
御支援ありがとうございました。今後も御支援・御声援をよろしくお願いたします。



・フレームモックアップの改良

前回作成したモックアップをさらに改良し、より CAD 図に近いものを作成しました。また 1/8 クレーモデルを作成し新車両の形状検討を行いました。モックアップでは以前のものより精度が高いものを作成したためドライバースペースの検討が行いやすくなりペダル回りの問題点などを洗い出すことができました。フレーム形状については今回作成したモックアップの形状でほぼ決定し製作に取り掛かっていきます。



モックアップ改



1/8 クレーモデル



ドライバースペースのレイアウト検討中

・エンジン試験

これまでエンジンを単体にして回すことができませんでしたが、エンジン台を作成し車両からエンジンをおろしエンジン試験を行いました。私たちが使用しているエンジンは今まで 1 気筒だけ排気温度が上がらずスムーズにエンジンを回転させることができませんでした。しかし今回の実験で燃料噴射量の調整とこれまで実験を行っていなかった回転数での測定を行ったところ調子の悪かった気筒が燃焼するようになりました。これまでエンジンの不調はエンジン本体に問題があるのではないかと考えたきましたが、今回の実験により取り付けられている吸気系に問題があることがわかりました。今後は吸気系の改善を行いながらエンジンの調整を行っていく予定です。



・フレーム加工開始

日鉄鋼管株式会社様から支援していただいたフレーム材が届いたので早速フレームの加工をスタートさせました。フレームの長さを整えていくことと同時に、フレームを溶接する際に用いる治具も作成していきました。3月に入ったらフレームの溶接を行っていく予定です。



最後に

いよいよ車両の製作に入りました。昨年のこの時期と比較すると今年度のほうが車両製作のスピードは確実に上がっています。しかし当初予定していた日程より少し遅れていることも事実です。私たちが今目標にしているのは5月にシェイクダウンを行うことです。それまでに車両を完成させることができるようさらに努力していきます。これからも皆様の御支援・御協力をよろしくお願いいたします。

山梨大学学生フォーミュラ部一同